

● 高齢者への支援について

その他の質問

・カスタマーハラスメント対策について



吉田将克 議員



議 バス運賃について、勝山市内のほとんどのバスは、勝山駅、サンプラザ、水芭蕉を通っている。高齢者のバス運賃を無料にすると、高齢者の行動範囲を広げ、地域の活性化につながると考えるが、市の見解を伺う。

理 勝山市では、高齢者による交通事故の減少を目指し、高齢者運転免許証自主返納支援事業を実施している。さらに今年10月1日から、コミュニティバスの野向・北郷・荒土方面を1つのエリアとして、フルデマンド運行を開始する。既にフルデマンドバスの導入をしている野向・北郷両方面では、利用者数が増加し、両地区の全戸を対象に行ったアンケートでも非常に満足度が高い結果となっている。

高齢者の行動範囲を広げ、社会参加促進を図る為に、まずコミュニティバスの利便性を高めていきたい。運賃のあり方については、勝山中学校が開校する令和9年4月に合わせ予定している、市内公共交通体系の見直しの中で検討していく。

議 市・県民税の申告について、確定申告期に、まちづくり会館等に市・県民税の申告書を準備してはどうか。

また、生命保険料控除等の税に関する書類を紛失しないよう、確定申告前の10月頃の広報に紛失防止の為に周知する必要があると考えるが市の見解を伺う。

理 申告時期にまちづくり会館等へ市・県民税の申告書を備え付ける事については、家庭にインターネットやパソコン機器等の環境が整わない方への支援として実施する。

また、年末調整時期に送付される生命保険料控除証明書等の紛失を防ぐ為の注意喚起及び提出先の案内については、所得税を管轄する税務署と連携し、広報等を活用した周知及び時期について検討する。

● 新中学校建設特別委員会

6月定例会以降、閉会中の7月22日、8月22日に委員会を開催しました。

7月22日の委員会では、給食食材搬入等の車両動線について説明を受け、グラウンドと校舎の間を通らない動線がないか、委員から様々な可能性について意見が出されました。

また、高校の仮設昇降口の建設工事と、新中学校建設の為、現在の高校の昇降口の解体、クラブハウス等の解体工事について説明がありました。

一方、地下横断歩道の建設には都市構造再編集中支援事業補助金が財源として予定されていますが、その対象となるか確認するよう意見が出され、再度補助対象になる事を確認しました。

次に8月22日の委員会では、前回委員会で意見があった車両動線について具体的に地図を見ながら説明を受けました。高低差や幅員の問題で具体的に適地の結論は出ませんでした。今後検討を続けていきます。

給食室の設計については、議会への表明があった時期と設計の指示の時期について意見がありました。

中高連携カリキュラムについては、現在の検討案について説明を受け、議論をしました。

次に9月25日の委員会では、付託を受けた勝山市立中学校建設工事（地下横断歩道建設工事）請負契約の締結について、まず審査しました。

委員からは補助対象について、それぞれの区域で文部科学省の補助事業、国土交通省の補助対象事業、補助対象とならない事業に分かれる理由と、その事業費について意見が多く寄せられました。市民負担をできるだけ抑えるよう、努力している事の説明がされました。

委員からは契約自体に不備があるとは言えないものの、市長選挙を控え、審査を継続すべきという意見と、一方で議案の契約については手続きや契約内容に不備がないのであれば、契約締結を認めるべきという意見が出されました。採決により継続して今後も審査していく事となりました。

今後も勝山市の将来を担う子ども達のがびのびと学び、また子ども達が主体性をもって様々な活動ができる安全安心な学校施設が整備できるよう議論していきます。